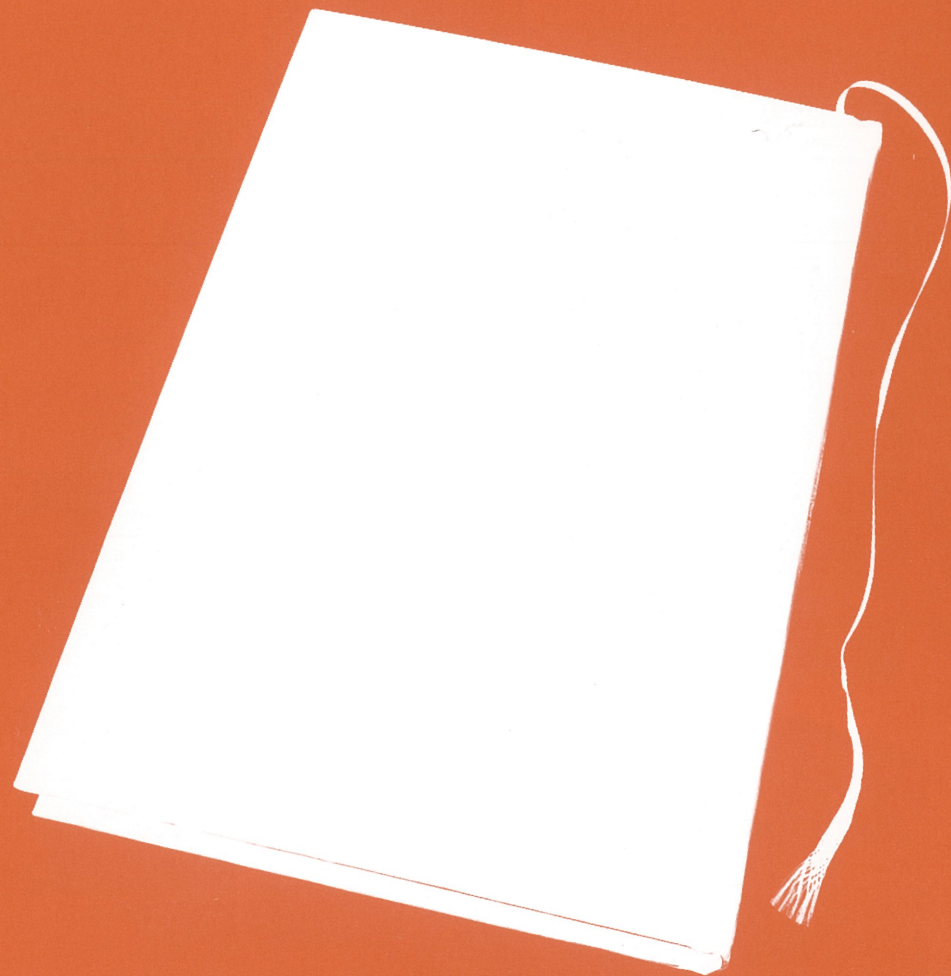


自費出版

歴史ある
中央公論新社グループの信用と技術で
あなたの本をつくります。



中央公論事業出版のご案内

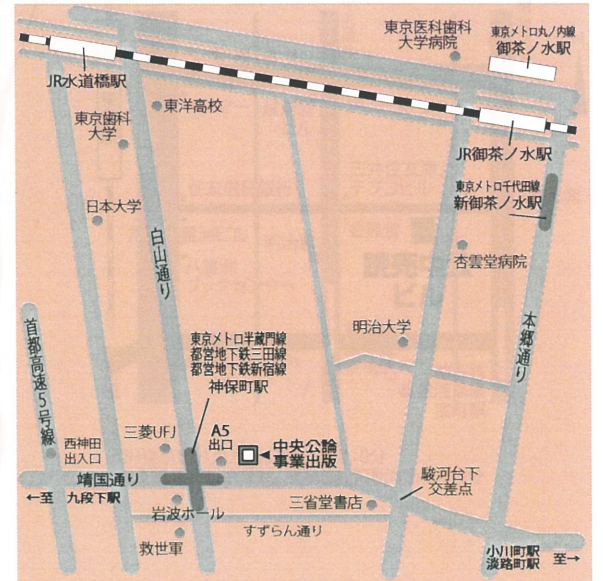
●原稿の作り方から販売についてまで、ご相談に応じます。

中央公論事業出版の概要

1957年に設立された自費出版専門の会社です。創業以来半世紀、出版点数は約11,200点になります。(2016年現在)

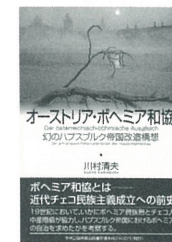
〈住所〉〒101-0051
東京都千代田区神田神保町 1-10-1
IVYビル5階
電話 03-5244-5723 (代表)
FAX 03-5244-5725
〈ホームページ〉
<http://www.chukoji.co.jp/>
E-mail: mail@chukoji.co.jp

地下鉄神保町駅 A5出口から
左折すぐ
地下鉄九段下駅 徒歩 10分
JR御茶ノ水駅 徒歩 10分
JR水道橋駅



非売本

『ベルリンからの手紙
第二次大戦、大空襲下の一技術者』
著者・北島正和様(70歳)
「このたびは、自費出版『ベルリンからの手紙』を貴社にお願いいたしましたところ、私の予想以上にいい本が出来ました。特に活字の大きさやレイアウト、カバー、参考資料の書き方などはじめ内容に至るまでの確なご意見をいただき誠に有り難うございました。これによって、本が大変いいものになりました。今、毎日読後感が寄せられています。市販してはどうかと勧める者も多くいます。出版を経験したことのある者からは、誤植は見あたらず、大変良く校正されていると思うと言われました。(略)」



発売本

『オーストリア・ボヘミア和協
幻のハプスブルグ帝国改造構想』
著者・川村清夫様(46歳、大学講師)
「2回目の校正刷り、ありがたく拝受いたしました。東欧史が御専門でなく、慣れておられぬ分野にもかかわらず、校正を重ねて、本の完成度を高めようとされる、出版の専門家の方々の御努力には心から敬服いたします。(略)」



発売本

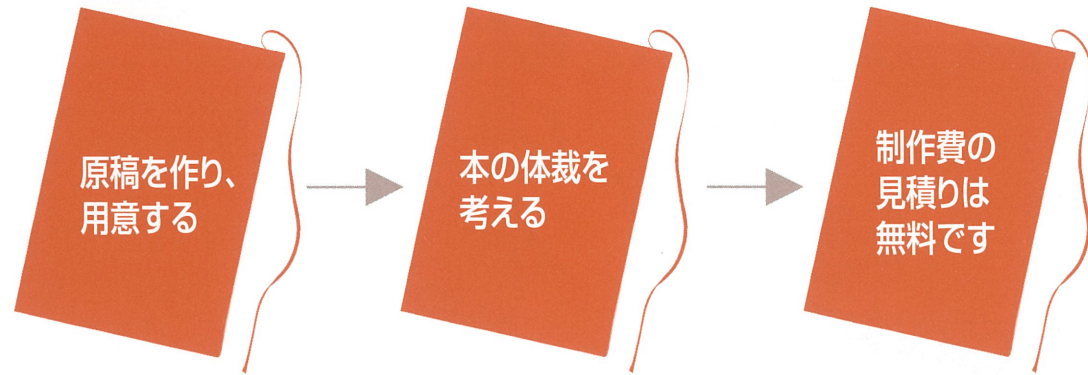
『老犬タローストーリー
ペットロス症候群にならないために』
著者・太田英恵様
「ペットロス症候群を体験した私が、気持ちの整理のためと、タローストーリーの実例が同じくペットをお持ちの方になんらかの参考になればと書き上げました。書くことで心は和らぎ、本にすることで同じく想う人々への励みにつながったように思っています。タローストーリーのカットを添えてというアドバイスをいただきましたし、また文章上の細かなご指摘も参考になりました。本を出すことは、大変責任のあることと厳粛に受け止めています。」

著者から
寄せられた
ことば

あなたの一冊、企業・団体の本

エッセイ、旅行記、詩、俳句、短歌、小説などをまとめたい。
自分史をつくりたい。
故人の遺稿や追想記を残したい。
社史、団体史をつくりたい。
PR誌や会報誌をつくりたい。
研究や論文をまとめておきたい。
写真や絵やコレクションを本にしたい。

このようなご要望に、当社の経験ゆたかなスタッフが、
スタートから完成まで、心をこめてお手伝いします。
できた本は全国の書店に置いてもらうことができます。



- どんな本をつくりたいか、本づくりはそこから始まります。
- 本にしたい論文・エッセイ・旅行記・詩・俳句・短歌・小説などの原稿を集めて構成してみてください。絵・写真であっても同じです。
- 文字原稿のほかに、その本に載せたい写真・イラスト・図表などがあれば、それもご用意ください。
- これから書くという人は書きたいことを項目にして並べ、目次をつくってみることをお勧めします。そして、書きやすいところから書いてみてください。
- 原稿は、手書きでも、パソコンやワープロでもかまいません。手書きの場合は原稿用紙が便利です。
- パソコンやワープロなどで作成したテキスト・データをご用意いただくと経費・校正の負担、制作日数などが軽減されます。
- 取材やインタビューによる原稿作成についてもご相談を承ります。

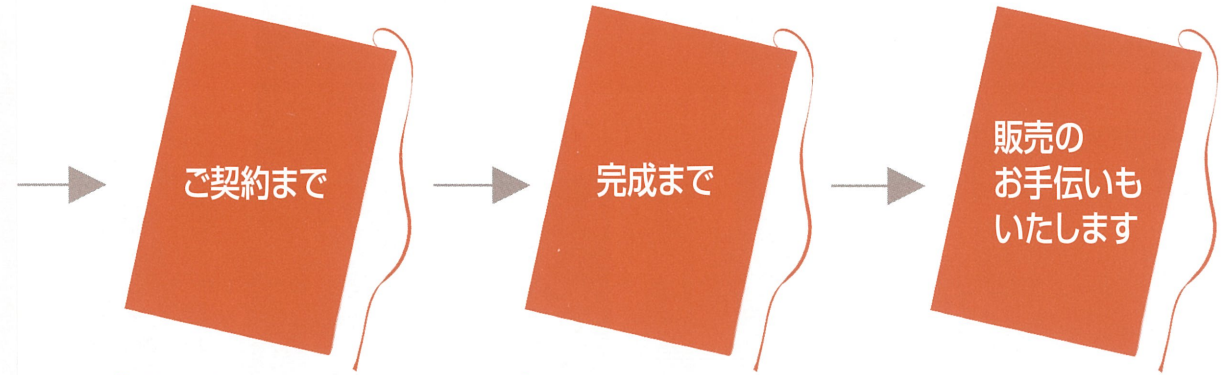
◆社史・団体史・年史については企画や取材・インタビューなどによる原稿づくりからご相談を承ります。

- 本の大きさは四六判、A5判が標準です。そのほか新書判、文庫判などの小型のものから画集・写真集などの豪華本のようなものまでたくさんの種類があります。自分の本をどの形にするかを決めるには、書店や図書館で同じような分野の本を見て参考にするのがよいでしょう。
- 造本は大きく分けてハードカバーの上製本とソフトカバーの並製本の2種類に分かれます。カバーや表紙、本扉（本のタイトル、著者名などを刷り込んだ最初のページ）などは印刷する色の数、素材など無数のバリエーションがあります。
- 本文にカラーを使用するかどうかは制作費に大きく影響するので、前もってお考えください。
- 文字の大きさと組み方も本の印象を大きく左右します。それによってページ数も変わってきますので制作費にも影響がでます。
- 手本になる本をご持参いただくと具体的なお話ができて便利です。

- 何部つくるかを決めてください。贈呈する人の数を考えるには年賀状の数が一つの目安になります。後日、予期しなかった人から欲しいといわれることもありますから、必要と算出した部数の1~2割増くらいをつくとよいでしょう。
- 書店に置いて販売してもらう場合、最低500部は必要です。
- あとはページ数が決まれば、見積りができます。ページあたりの文字数を考えて概算してください。
- 標準的な制作費の目安は、小パンフレット「自費出版のおすすめ」のなかの「制作費用（概算）の目安」をご参照ください。別紙「見積作成データ」に必要事項をご記入いただければ、より近似の概算見積りをお作りできます。これらは、ホームページを通じて見ることができ、見積りを承ることもできます。
- 予算が限られている場合は、それに合わせて可能な方法を検討し、提案いたします。

その構想から完成・販売までお手伝いします。

- ◆文章のよりよい表現 ◆用字用語の統一整理 ◆内容に適した構成と見出し
- ◆内容を引き立てるレイアウトと美しい装丁 ◆確かな校正 ◆図表類の作成
- ◆インタビューや座談会の設営 ◆テープ起こし ◆撮影 ◆原稿作成および助言
- ◆著作権の許認可の代行、など、専門家の目でお手伝いいたします。



- 概算見積りをご承諾いただいたら、いよいよ本づくりのための打合せが始まります。本文の組み方から装丁まで、見本を参照しながらご納得がいくまで打合せをいたします。
- こまかな仕様が固まったところで必要に応じて正確な見積り（無料）を提示いたします。
- ご納得いただきましたら契約をいたします。その際に、原則として半額を前金として申し受けます。残りの半額は、本が完成し、納本後にいただきます。
- 契約から本の完成までは、順調に進行すると約3ヵ月かかるとお考えください。

- 本文の組み方、写真・イラスト・図表のレイアウトなど個々の本によって作業に差が出ますが、当社の経験ゆたかな編集・制作スタッフご希望に応じてバックアップいたしますのでご安心ください。
- 校正は二度ご覧いただけます。大幅な変更や大量の追加訂正が加わりますと、完成が遅れるばかりでなく、経費もかかります。追加料金をいただくことにもなりますので、原稿の完成度をできるだけ高めておいて、訂正は少なくしてください。
- 装丁関係は本文とは別にプランからご相談し、進行させます。
- すべてが校了になれば、あとは印刷・製本の作業になり、完成を待つばかりです。
- ご指定の場所に納品するだけでなく、贈呈本の発送も代行いたします。
- 当社から国会図書館に納入いたします。

- 当社では取次（本の間屋）を通じて全国の書店に配本することができます。この場合は売れ残った本は返本されてきます。DM販売や個人販売を主として、書店からは注文に応じるだけにすれば返本の恐れはなくなります。
- 販売する場合、発行者はお客様になります。いわゆる「共同出版」ではなく当社は販売業務を代行するだけです。売れた場合は諸手数料を差し引いた金額がお客様の収入となります。
- 宣伝のための費用はお客様のご負担となります。
- 販売をご希望の場合は、契約時にご相談ください。

お気軽にご連絡ください。いつでもご相談に応じます。
電話あるいはホームページでご確認ください。
〒101-0051
東京都千代田区神田神保町 1-10-1 IVYビル 5階
電話 03-5244-5723 (代表) FAX 03-5244-5725
〈ホームページ〉 <http://www.chukoji.co.jp/>

●お客様相談室

社史・団体史 広報誌

微妙な企業カラーを伝える。

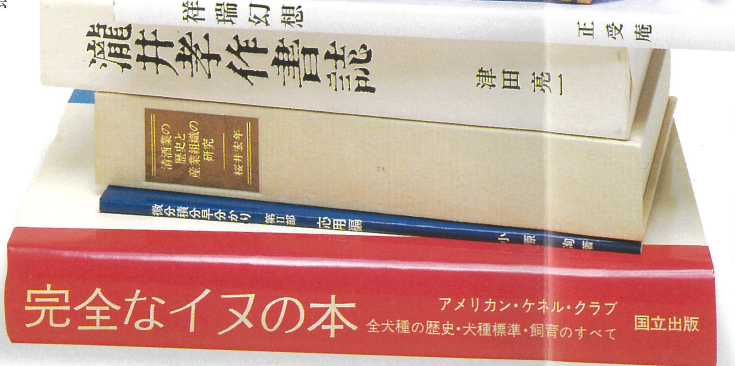
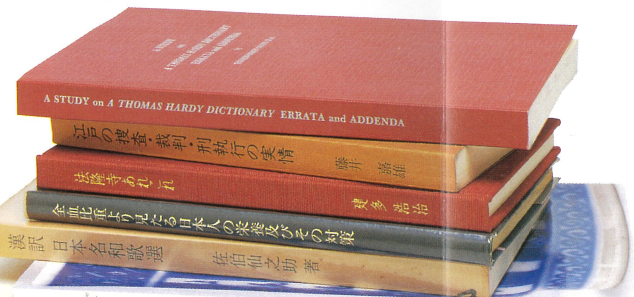
さまざまな社風、校風があつて、歴史がある。企業、団体の歩んできた道はひとつひとつ個性的なものです。それぞれの事績・イメージにあわせ、どんな内容の社史・団体史にするかを、独自の視点から提案させていただきます。また、企業イメージをアピールするPR誌などについても必要に応じたサポートをしています。



論集・研究誌 年鑑

貴重な成果を記録する。

積み重ねてきた研究レポート、後世に残すべき貴重な論文、そして学術的な専門書の数々。大学、企業、官庁、専門機関、法人、団体等の研究誌、紀要、論文、年報、年鑑、名簿、報告書は関係者の方々にとって欠かすことのできない貴重な情報源です。



- 「啄木短歌の精神分析」石田六郎
- 「交通事故の治療と補償」長谷川伝
- 「誰にでもできる皿まわし入門」永富勲
- 「なぜ、村は集団検診をやめたか」網野皓之
- 「核オプシオン」梶佳辰
- 「演出記録」小沢栄太郎
- 「横瀬夜雨 生涯と文学」横瀬隆雄
- 「スプリング辞典」西山雅之
- 「世界の船長の顔」宮越賢治
- 「長野泰 科学論文集」
- 「日本の動植物季節前線図」百瀬成夫
- 「伊豆大島志考」大島町
- 「華厳教学成立史」石井教道
- 「忌宮長府祭事記」宮崎義敬
- 「世界の大都市」W.A.ブロン編
- 「安藤昌益」八戸市立図書館
- 「イノバル作戦」磯部卓男
- 「銅鑄と日本神話」大塚正信
- 「現代に活きる山の神伝承」佐藤芝明

- 「戦時生活と隣組回覧板」江波戸昭
- 「現代語訳 正法眼蔵」全三巻 西嶋和夫
- 「禅人利休の生涯」武田大
- 「私の選んだ格言集」北野生涯教育振興会
- 「自強術の医学」近藤芳朗
- 「空前の乗合訴訟」泉博
- 「癌の告知タイムリナルケ」佐々木勉郎
- 「西郷隆盛の世界」上田滋
- 「日本の農業の未来を考える」食糧農業総合研究会
- 「加藤秀俊著作目録」
- 「後藤義之進米寿記念論文集」
- 「さんすい」エネルギー問題対談集」石井威望編

- 「紀州民俗誌」逸本盛照
- 「明治大正の文学者」中村武羅夫
- 「江戸名物浅草海苔巻考」北村正治
- 「農村食生活実態調査」食生活研究会
- 「脚本家年鑑」
- 「演劇年鑑」
- 「日本労働運動史料」
- 「労使関係実態調査」
- 「世界経済年報」日本国際連合協会
- 「水経年報」水利科学研究所
- 「水利科学」
- 「小金井」小金井コントリ倶楽部

- 「なや100年」名古屋市
- 「大三輪町史」奈良県大三輪町
- 「五城目町史」秋田県五城目町
- 「経済団体連合会」十年史」
- 「北海道開発庁」二十年史」
- 「食糧管理史」全七巻 農林省食糧庁
- 「農業災害補償制度史」農林省
- 「林業事業五十年史」日本林道協会
- 「合化労連」二十年史」
- 「治山事業六十年史」
- 「統計研究会」二十年史」
- 「日本雑誌協会史」
- 「河川改修四十年史」四国建設弘済会

- 「日本燈台史」運輸省海上保安庁
- 「緑風会」十八年史」
- 「北海道酪農史」
- 「北海道酪農史」
- 「北海道農業発達史」北海道立総合経済研究所
- 「日本クラフ三十年史」
- 「光荘会」十年の歩み」
- 「日本金風玩具史」
- 「日本茶輸出百年史」
- 「中曾根内閣史」全六冊 世界平和研究所編
- 「銀行協会」二十年史」
- 「三〇年のあゆみ」全国いか加工業協同組合
- 「ほくせい創業二十年史」北星海運
- 「浅草の百年」神谷一と浅草の人々」
- 「橋本八十年の歩み」
- 「日本石油輸送の25年」
- 「阪和興業」二十年史」
- 「三井観光開発」15年の歩み」
- 「郷土誌」田園調布」田園調布会
- 「東京會館いまむかし」
- 「1945年写真史」
- 「基礎研究」十年」東レ基礎研究所
- 「永寿総合病院」十周年記念誌」
- 「東京女子医科大学小史」
- 「日本女医史」日本女医会」
- 「東京大学医学部眼科学教室百年史」

- 「東京慈恵会医科大学眼科学教室百年史」
- 「専修大学百年史」
- 「フリス女学院100年史」
- 「成城学園五十年史」
- 「中央学院八十年史」
- 「津田塾六十年史」
- 「楽しく学ぶICU高校 いま一〇年」国際基督教大学高等学校
- 「鎌女回想 写真でつづる九〇年の歩み」鎌倉女学院「修猷館ラッキー」
- 「橋のぞ」ニッポ橋大学ニュース部

伝記・自分史

追悼集

かけがえのない自分を見る。

出会いと別れ、悲しみと喜び、自分の過去を振り返り、その半生を確かなカタチで書き留めたい。人にはそれぞれかけがえのない歴史があります。たとえば、企業のトップの方を綴る伝記・

